

**Pioneer** *sound.vision.soul*

CD/チューナー・WMA/MP3対応メインユニット

# DEH-P7

取扱説明書

目次 4ページ

**carrozeria**

# 必ずお読みください

## 安全のために必ずお守りください

### 絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



### 警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



### 注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

# 安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

## 警告

### [使用方法]

#### 運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

### [異常時の処置]

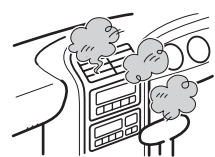
#### 故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

#### 異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

#### ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

# 目次

## — CONTENTS

### 必ずお読みください

安全のために必ずお守りください . . . . . 2
絵表示について
安全上のご注意

### はじめに

各部のなまえ . . . . . 6
本体
リモコン
本機の特長 . . . . . 8
WMAについて
MP3について
付属のリモコンでの操作について . . . . . 9
50枚型マルチCDプレーヤーの
使用について . . . . . 9
リモコンの準備 . . . . . 10
バッテリー上がりを防ぐために . . . . . 10

### 本機の基本操作

本機の基本操作 . . . . . 12
電源ON
ソース選択
音量調節
電源OFF

### 内蔵CDでCDを聞く

内蔵CDの基本操作 . . . . . 14
CDセット
選曲
早送り・早戻し
CDイジェクト
モードの切り換えかた . . . . . 16
ファンクションモードの切り換え
同じ曲を繰り返し聞く . . . . . 17
いつもと違う曲順で聞く . . . . . 17
聞きたい曲をさがす . . . . . 18
CD再生を一時停止する . . . . . 19
選曲方法を切り換える . . . . . 19
10曲飛びに選曲する . . . . . 20
CDのタイトルを表示させる . . . . . 20
「CD TEXT」のタイトルや歌手名を
表示させる . . . . . 21

### WMA/MP3を聞く

WMA/MP3の基本操作 . . . . . 22
CD-ROMセット
フォルダー選択
選曲
早送り・早戻し
CD-ROMイジェクト
モードの切り換えかた . . . . . 25
ファンクションモードの切り換え
同じ曲やフォルダーを
繰り返し聞く . . . . . 26
いつもと違う曲順で聞く . . . . . 27
聞きたい曲やフォルダーを
さがす . . . . . 28
WMA/MP3再生を一時停止する . . . . . 29
タイトルを見て
聞きたいフォルダーをさがす . . . . . 30
選曲方法を切り換える . . . . . 31
フォルダー内の曲を10曲飛びに
選曲する . . . . . 31
TAG表示をON/OFFする . . . . . 32
WMA/MP3のタイトルを
表示させる . . . . . 33
表示切り換え
隠れている文字を表示する

### ラジオを聞く

ラジオの基本操作 . . . . . 34
バンド切り換え
選局
複数の放送局を自動的に
記憶させる . . . . . 36
放送局を1局ずつ記憶させる . . . . . 37
記憶させた放送局を呼び出す . . . . . 37
記憶させた放送局を直接呼び出すとき
記憶させた放送局を順番に呼び出すとき
放送局名を表示させる . . . . . 38
放送局名を選ぶ . . . . . 39

## マルチ CD で CD を聞く

マルチ CD の基本操作	40
ディスク選択	
選曲	
早送り・早戻し	
モードの切り換えかた	42
ファンクションモードの切り換え	
同じ曲や CD を繰り返し聞く	43
いつもと違う曲順で聞く	44
聞きたい曲や CD をさがす	44
CD のタイトルを記憶させる	46
CD のタイトルを表示させる	48
「CD TEXT」のタイトルや歌手名を 表示させる	48
表示切り換え	
隠れている文字を表示する	
タイトルを見て聞きたい CD を さがす	49
CD 再生を一時停止する	50
CD の音質を調節する	51

## TV の操作

テレビの基本操作	52
バンド切り換え	
選局	
モードの切り換えかた	54
ファンクションモードの切り換え	
複数のチャンネルを自動的に 記憶させる	54
音声を切り換える	55
チャンネルを 1 局ずつ記憶させる	56
記憶させたチャンネルを呼び出す	57
記憶させたチャンネルを直接呼び出すとき	
記憶させたチャンネルを順番に呼び出すとき	

## 音を調節する

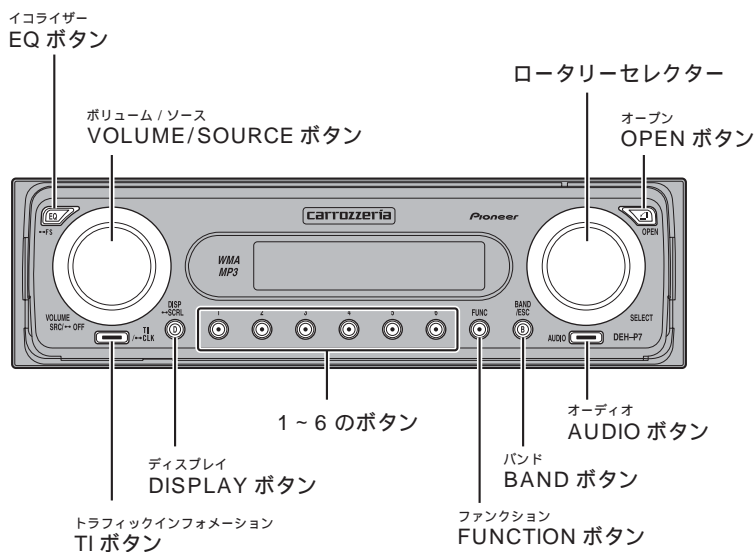
イコライザーカーブを選ぶ	58
前にステージがあるような 感じにする	58
モードの切り換えかた	59
オーディオ調節モードの切り換え	
前後左右の音量バランスを 調節する	60
お好みに合わせてイコライザー カーブを調節する	61
低音と高音を調節する	62
小音量時の音にメリハリをつける	63
サブウーファーを使う	64
外部アンプなどで サブウーファーを調節する	66
低い音をスピーカーから 出力させないようにする	67
各ソースの音量の違いをそろえる	68
騒音に合わせて音量を変える	69

## その他の機能と付録

瞬時に音量を小さくする	70
時計を表示させる	70
よく使う機能を直接操作する	71
内蔵 CD、WMA/MP3、マルチ CD のとき	
ラジオのとき	
テレビのとき	
交通情報を受信する	72
初期設定モードの切り換えかた	72
時計を合わせる	73
外部機器の音声を聞く	74
外部機器の名称を入力する	74
夜間のディスプレイの明るさを 切り換える	75
リアの出力方法を変える	76
サブウーファーの調節先を選ぶ	77
ミュート/アッテネート切り換え	78
CD の正しい使いかた	80
WMA/MP3 ファイルについて	82
故障かな?と思ったら	84
こんなメッセージが表示されたら	86
保証書とアフターサービス	87
用語解説	88
おもな仕様	90

# 各部のなまえ

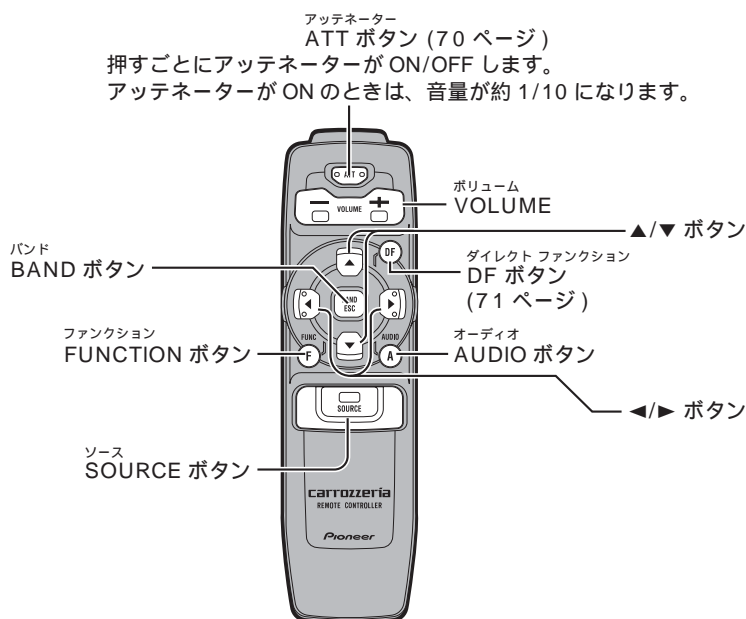
## 本体



## リモコン

各ボタンは、本体の同じなまえのボタンと同じ働きをします。

ATT ボタンは、リモコンだけに付いているボタンです。



### DF ボタンについて

DF ボタンを押すと、ソースごとにあらかじめ記憶されている機能を直接操作することができます。内蔵 CD・マルチ CD でポーズ、ラジオで BSM、テレビで BSSM を操作することができます。(71 ページ)

- ・ 別売のステアリングリモートコントロールユニット「CD-SR100」(以下、ステアリングリモコン) で本機を操作することもできます。ただし、この場合は、一部リモコンでは操作できない機能があります。
- ・ ステアリングリモコンの操作のしかたや取り扱いについては、ステアリングリモコンの説明書をお読みください。

# 本機の特長

本機は、音楽CD、WMA/MP3の再生に対応しています。

## CD再生

音楽用のCD/CD-R/CD-RWを再生することができます。

## WMA/MP3再生

WMAおよびMP3ファイルが記録されたCD-R/CD-RW/CD-ROMの再生に対応しています。ディスクは、ISO9660のレベル1、およびレベル2、および拡張フォーマット (Joliet, Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。(82、88ページ)

## WMAについて



外装箱に印刷された、Windows Media™のロゴは、本機がWMAデータの再生に対応していることを示しています。

WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7、7.1、またはWindows Media Player for Windows XPを使用してエンコードすることができます。

Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

- ・ WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- ・ WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

## MP3について

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。

営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットをはじめとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。



## 付属のリモコンでの操作について

本書では、本体のボタンを例に操作説明を行っています。本機は、本体のボタンと付属のリモコンのどちらでも同様の操作を行うことができますが、本体のロータリーセレクターと、リモコンの▲/▼/◀/▶ボタンでは、操作方法が異なります。

付属のリモコンで操作する場合は、次の表を参照して、操作を行ってください。

本体のロータリーセレクターでの操作	リモコンのボタンでの操作
ロータリーセレクターを左に回す。	◀ ボタンを押す。
ロータリーセレクターを右に回す。	▶ ボタンを押す。
ロータリーセレクターを押す。 (押すごとに機能のON/OFFが 切り換わります。)	▲ ボタンを押す。(機能のON) ▼ ボタンを押す。(機能のOFF)

## 50枚型マルチCDプレーヤーの使用について

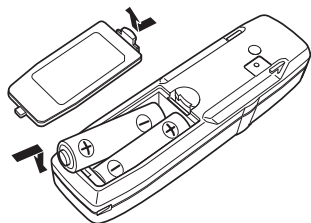
本機では、50枚型マルチCDプレーヤーの取扱説明書に記載されている50枚型マルチCDプレーヤー特有の機能を操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。

## リモコンの準備

付属のリモコンを使うための準備です。

### リモコンに電池を入れる

裏ボタンを開けて、単4乾電池 (R03) 2本をセットします。



リモコンの操作可能範囲が狭くなったときは、新しい電池と交換してください。

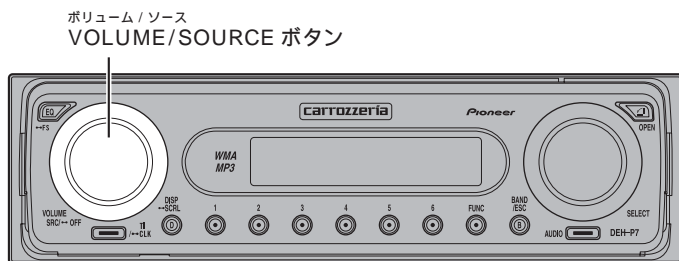
- ・ リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- ・ 本体に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないときがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。
- ・ 付属の電池は、充電しないでください。
- ・ リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- ・ 電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。
- ・ 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

## バッテリー上がりを防ぐために

本機を使用するときは、必ず車のエンジンをかけてください。また、本機が電源OFFのときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のイグニッションスイッチをON (またはACC) にしないでください。バッテリー上がりの原因になります。



## 本機の基本操作



## 本機の基本操作

電源 ON/ソース選択/音量調節/電源 OFF

ここだけの操作で、本機を使用することができます。

### 1 SOURCE ボタンを押して、電源を入れる

本機の電源がONになります。

CDをCD挿入口に差し込んだときも、電源がONになります。(14ページ)



### 2 SOURCE ボタンを押して、ソース(音源)を切り換える

ボタンを押すごとに、次のようにソースが切り換わります。

ラジオ (FM/AM) テレビ (別売)

内蔵CD マルチCD (別売)

マルチMD (別売)

External (エクスターナルユニット1) (別売)

External (エクスターナルユニット2) (別売)

AUX (外部機器) (別売)

ラジオ (FM/AM) に戻る



### 3 VOLUME を回して、音量を調節する

右回し：大きくするとき

左回し：小さくするとき



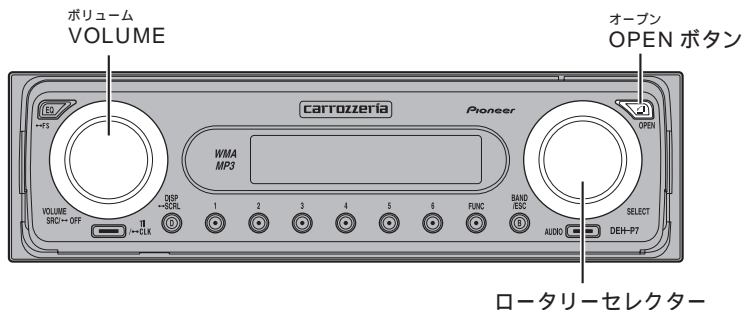
0～62の範囲で調節できます。  
約4秒間、音量が表示されます。

### 4 SOURCE ボタンを1秒以上押し て、電源を切る

電源がOFFになります。

- ・ 接続していないソースには切り換わりません。
- ・ CDがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。
- ・ 本機の青リード線（オートアンテナ）に車側のオートアンテナコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。
- ・ External（エクスターナルユニット）とは、本機がソースとして対応していないパイオニア製品（将来発売される製品など）の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。本機では、2台のExternal（エクスターナルユニット）をコントロールすることができますが、External1、External2のどちらに切り換えても“External”が表示されます。2台のExternal（エクスターナルユニット）を接続した場合、本機によって、External1、External2が自動的に設定されます。
- ・ AUX（外部機器）の設定（74ページ）をONにしないと、AUXには切り換わりません。

## 内蔵CDでCDを聞く

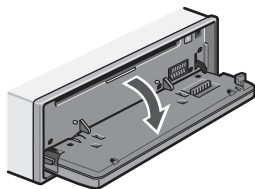


### 内蔵CDの基本操作

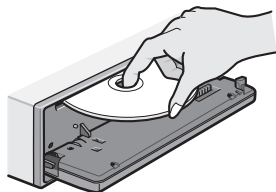
CDセット/選曲/早送り・早戻し/CDイジェクト

ここだけの操作で、CDを聞くことができます。

- 1 OPEN ボタンを押して、フロントパネルを開ける



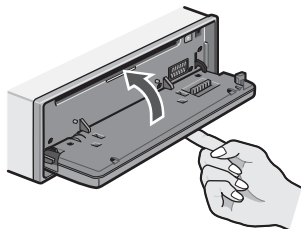
- 2 タイトル面を上にして、CDをCD挿入口に差し込む



- ・ CDシングル (8 cm CD) もアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。
- ・ CD挿入口には、CD以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。

- 3 フロントパネルを閉める  
CDの再生が始まります。

「CD TEXT」の場合、セットしたときや、他のソースから内蔵CDに切り換えたときなどに、ディスクタイトル、曲名を自動的に1回スクロール表示します。



## 4 ローターセレクターを回して、聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻しをする)

右回し：次の曲を選ぶとき (または早送り)

左回し：前の曲を選ぶとき (または早戻し)



### 選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し <sup>1)</sup>	0.5秒以上回し続けている間

「CD TEXT」を再生しているときは、曲を選んだときに、曲名を自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、自動的にスクロール表示しません。

<sup>1)</sup> 選局方法にROUGH SRCHを選んでいる場合、ラフサーチ (20ページ) になります。

## 5 VOLUME を回して、音量を調節する

右回し：大きくするとき

左回し：小さくするとき

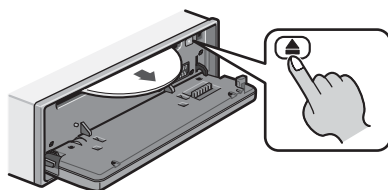


0~62の範囲で調節できます。  
約4秒間、音量が表示されます。

## 6 OPEN ボタン、EJECT ボタンを押して、CDを取り出す

CDが出てきます。

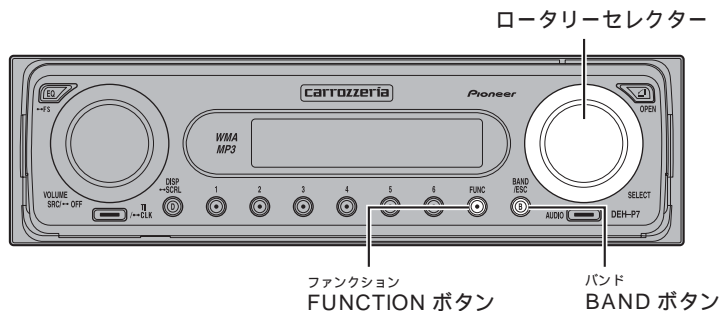
出てきたCDはすぐに取り出して、保管してください。



## 7 フロントパネルを閉める

CD挿入口にゴミやホコリが入るのを防ぐためフロントパネルを閉めてください。

- CDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース (ラジオやマルチCDなど) に切り換えることもできます。(12ページ)
- CDを挿入すると、本機はCDからファイル形式などの情報を読みとります。この間、ディスプレイは「FRMT READ」が表示されます。



## モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

### ファンクションモードの切り換え

- 1 FUNCTION ボタンを押して、ファンクションモードを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



リピートモード (17ページ)   ランダムモード (17ページ)  
 スキャンモード (18ページ)   ポーズモード (19ページ)  
 選曲方法切り換えモード (19ページ)   TAG表示モード  
 リピートモードに戻る

- ・ 音楽データを再生している場合、TAG 表示を ON にしても効果はありません。(32 ページ)
- ・ ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)



## 同じ曲を繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞きことができます。

- 1 FUNCTION ボタンを押して、リピートモードを選ぶ



- 2 ロータリーセレクターを押して、リピート再生をONにする  
今聞いている曲を繰り返し再生します。  
もう一度押すとOFFになります。



- 3 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



リピート再生中に表示されます。

内蔵CDでCDを聞く

## いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をCDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順（ランダム）で再生することができます。

- 1 FUNCTION ボタンを押して、ランダムモードを選ぶ



- 2 ロータリーセレクターを押して、ランダム再生をONにする  
次の曲から、ランダムに再生します。  
もう一度押すとOFFになります。



- 3 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



ランダム再生中に表示されます。

# 聞きたい曲をさがす

スキャン再生

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、スキャンモードを選ぶ



- 2** ロータリーセレクターを押して、スキャン再生をONにする

曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。



スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

- 3** 聞きたい曲が再生されたら、スキャンモードにしてから、ロータリーセレクターを押して、スキャン再生をOFFにする

ファンクションモードが解除されていたら、手順1の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。



- 4** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

・ スキャン再生を始めた曲まで戻るとスキャン再生は解除されます。

## CD再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

- 1 FUNCTION ボタンを押して、ポーズモードを選ぶ



- 2 ロータリーセレクターを押して、ポーズをONにする

CD再生が一時停止します。

もう一度押すとOFFになります。



- 3 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



一時停止中に表示されます。

内蔵CDでCDを聞く

## 選曲方法を切り換える

ロータリーセレクターを0.5秒以上回し続けたときに、早送り/早戻しにするか、10曲飛びに選曲するラフサーチにするかを選ぶことができます。

- 1 FUNCTION ボタンを押して、選曲方法切り換えモードを選ぶ



- 2 ロータリーセレクターを回して、選曲方法を選ぶ

右回し：ROUGH SRCH (ラフサーチ) を選ぶとき

左回し：FF/REV (早送り/早戻し) を選ぶとき



- 3 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

## 10 曲飛びに選曲する

ラフサーチ

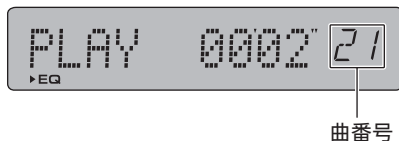
10 曲以上収録されているディスクの場合、10 曲飛びに選曲することができます。多くの曲を収録しているディスクのときに、聞きたい曲をだまかにさがすことができます。

**1** 選曲方法切り換えモードにしてラフサーチを選んでおく (19 ページ)

**2** ロータリーセレクターを 0.5 秒以上回し続けて、聞きたい曲を選ぶ

右回し：10 曲先のトラックを選ぶとき

左回し：10 曲前のトラックを選ぶとき



- ・ 10 曲以下のディスクでは、ラフサーチを行うと、最初の曲と最後の曲を選曲します。ラフサーチ後に残りの曲数が 10 曲以下になった場合も同様になります。

## CD のタイトルを表示させる

ディスクタイトル表示

CD のタイトルを入力し、表示させることができます。

### タイトル入力について

タイトル入力は、CD のタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。タイトルの入力のしかた (46 ページ)、タイトルの表示のしかた (48 ページ) は、マルチ CD と同じです。

タイトルは 10 文字まで入力できます。

内蔵 CD のタイトルは、48 枚分の記憶ができます。

48 枚を超えたときは、いちばん古い CD の記憶が消されて、新しい CD が記憶されます。

タイトルの記憶は、CD ごとに行われます。CD を取り出しても消えません。

### マルチ CD を組み合わせて使用する場合

タイトルを記憶させた CD をマルチ CD にセットしたときは、ディスプレイにタイトルを表示させることができます。

マルチ CD を組み合わせると、最大 100 枚分のタイトルを記憶することができます。

# 「CD TEXT」のタイトルや歌手名を表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

本機に「CD TEXT」をセットしたとき、ディスクタイトルや曲名などを表示させることができます。1度に10文字まで表示することができます。また、隠れている文字を順に表示させることもできます。

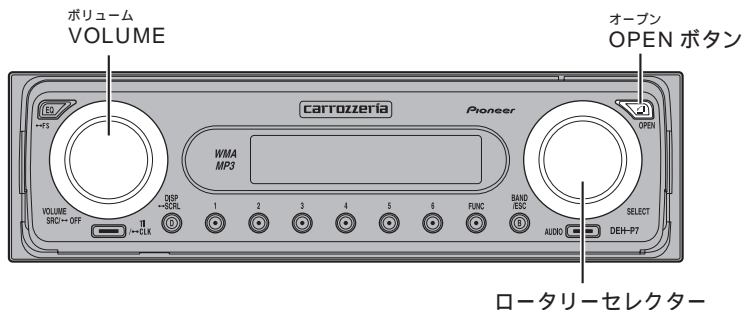
## 「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



タイトル表示のしかた、隠れているタイトルの表示のしかたは、マルチCDと同じです。(48ページ)

## WMA/MP3 を聞く

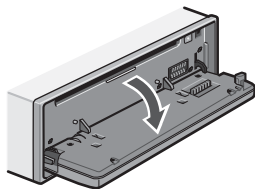


## WMA/MP3 の基本操作

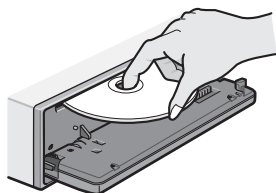
CD-ROM セット/フォルダー選択/選曲/早送り・早戻し/CD-ROM イジェクト

ここだけの操作で、WMA や MP3 を聞くことができます。再生できる WMA や MP3 については (82 ページ)。

- 1 OPEN ボタンを押して、フロントパネルを開ける



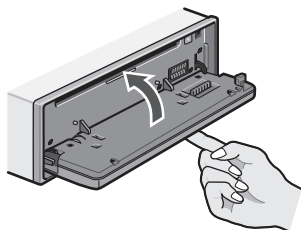
- 2 タイトル面を上にして、CD-ROM を CD 挿入口に差し込む



・ CD 挿入口には、CD 以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。

- 3 フロントパネルを閉める  
CD-ROM の再生が始まります。

CD-ROM をセットしたときや、他のソースから WMA/MP3 に切り換えたときに、フォルダー名、ファイル名を自動的に 1 回スクロール表示します。



## 4 ローターセレクターを押して、聞きたいフォルダーを選ぶ

ロータリーセレクターを押すごとに、フォルダー番号の順に、フォルダーを選ぶことができます。

BAND ボタンを2秒以上押すと、フォルダー01 (ROOT) に戻ります。ただし、フォルダー01 (ROOT) にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。

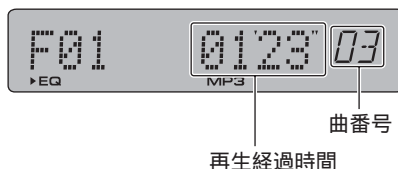


フォルダー番号

## 5 ローターセレクターを回して、聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻しをする)

右回し：次の曲を選ぶとき (または早送り)

左回し：前の曲を選ぶとき (または早戻し)



再生経過時間

曲番号

### 選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5 秒未満
曲の早送り/早戻し <sup>1)</sup>	0.5 秒以上回し続けている間

曲を選んだときに、ファイル名を自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、自動的にスクロール表示しません。

WMA/MP3 ファイルの早送り/早戻しをしているときは、音は出力されません。

1つのフォルダーに100曲以上の曲が収録されているときは、曲番号の左上の“▶”が点灯します。

1つのフォルダーに200曲以上の曲が収録されているときは、曲番号の左上の“▶”が点滅します。

<sup>1)</sup> 選曲方法にROUGH SRCHを選んでいる場合、ラフサーチ (31ページ) になります。

## 6 VOLUME を回して、音量を調節する

右回し：大きくするとき

左回し：小さくするとき

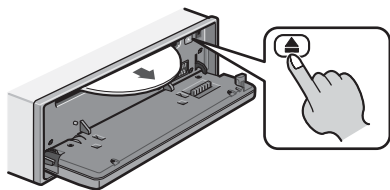


0~62の範囲で調節できます。  
約4秒間、音量が表示されます。

## 7 OPEN ボタン、EJECT ボタンを 押して、CD-ROM を取り出す

CD-ROM が出てきます。

出てきたCD-ROMはすぐに取り出して、保管してください。

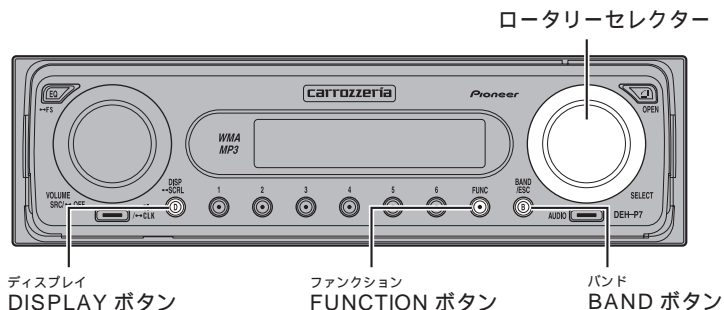


## 8 フロントパネルを閉める

CD 挿入口にゴミやホコリが入るのを防ぐためフロントパネルを閉めてください。

- ・ CD をセットしたまま電源を OFF にしたり、他のソース (ラジオやマルチ CD など) に切り換えることもできます。(12 ページ)
- ・ CD-ROM を挿入すると、本機は CD からファイル形式などの情報を読みとります。この間、ディスプレイは "FRMT READ" が表示されます。
- ・ VBR (可変ビットレート) で録音されたファイルを早送り/早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。
- ・ WMA/MP3 ファイルと、音楽データが混在しているディスクの場合は、BAND ボタンを押して、WMA/MP3 ファイルと、音楽データを切り換えて再生することができます。WMA/MP3 ファイルと、音楽データを切り換えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。このとき、音楽データ側に記録された文字情報は表示されません。





## モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

### ファンクションモードの切り換え

#### 1 FUNCTION ボタンを押して、ファンクションを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



- リピートモード (26 ページ)    ランダムモード (27 ページ)
- スキャンモード (28 ページ)    ポーズモード (29 ページ)
- フォルダーリストモード (30 ページ)
- 選曲方法切り換えモード (31 ページ)    TAG 表示モード (32 ページ)
- リピートモードに戻る

- ・ ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

# 同じ曲やフォルダーを繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1つのフォルダーを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

## 再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
ディスクリピート	再生中のCD-ROMを繰り返し再生します。(通常はこのモードにしておきます。)
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
フォルダーリピート	再生中のフォルダーを繰り返し再生します。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、リピートモードを選ぶ



- 2** ローターセレクターを回して、再生範囲を切り換える  
回すごとに次のように切り換わります。



DISC (ディスクリピート)    TRACK (トラックリピート)    FOLDER (フォルダーリピート)  
DISCに戻る

- 3** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

表示	再生範囲
F-RPT	フォルダーリピート
RPT	トラックリピート



リピート再生中に表示されます。

# いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をCDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順（ランダム）で再生することができます。

- 1** リピートモードにして、再生範囲を選ぶ  
(26 ページ)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

- 2** FUNCTION ボタンを押して、ランダムモードを選ぶ



- 3** ロータリーセレクターを押して、ランダム再生をONにする  
次の曲から、ランダムに再生します。  
もう一度押すとOFFになります。



- 4** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

表示	再生範囲
F-RDM	フォルダーリピート
RDM	ディスクリピート



ランダム再生中に表示されます。

- ・トラックリピートのときに、ランダム再生をONにすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わり、ランダム再生します。

# 聞きたい曲やフォルダーをさがす

スキャン再生

今聞いているフォルダーの、曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのフォルダーの、1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。

## 1 リピートモードにして、再生範囲を選ぶ (26ページ)

聞きたい曲をさがすとき  
(トラックスキャン再生)  
ロータリーセレクターを回して、  
フォルダーリピートにする  
再生中のフォルダーの全曲を、約10秒ずつ  
再生することができます。

聞きたいフォルダーをさがすとき  
(フォルダースキャン再生)  
ロータリーセレクターを回して、  
ディスクリピートにする  
再生中のディスク内すべてのフォルダーの1  
曲目だけを、約10秒ずつ再生することが  
できます。

## 2 FUNCTION ボタンを押して、スキャン モードを選ぶ



## 3 ロータリーセレクターを押して、 スキャン再生をONにする

曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。



スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。

表示	選択範囲
FSCAN	フォルダーリピート
SCAN	ディスクリピート



スキャン再生中に表示されます。

- 4** 聞きたい曲（フォルダー）が再生されたら、スキャンモードにしてから、ロータリーセクターを押して、スキャン再生をOFFにする



ファンクションモードが解除されていたら、手順2の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

- 5** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

- ・ スキャン再生を始めた曲（またはフォルダー）まで戻るとスキャン再生は解除されます。
- ・ トラックリピートのときに、スキャン再生をONにすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わり、スキャン再生します。

## WMA/MP3 再生を一時停止する

ポーズ

WMA/MP3 再生を一時停止することができます。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、ポーズモードを選ぶ



- 2** ロータリーセクターを押して、ポーズをONにする

WMA/MP3 再生が一時停止します。

もう一度押すとOFFになります。



- 3** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



一時停止中に表示されます。

# タイトルを見て聞きたいフォルダーをさがす

フォルダーリスト

フォルダーのタイトルから、聞きたいフォルダーを選ぶことができます。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、フォルダーリストモードを選ぶ



- 2** ロータリーセレクターを回して、聞きたいフォルダーを選ぶ

右回し：次のフォルダーのタイトルを表示させるとき

左回し：前のフォルダーのタイトルを表示させるとき

記憶されているタイトルが表示されます。また、そのフォルダーのフォルダー番号が点滅します。

フォルダー番号が3けたの場合は、下2けたが表示されます。



- 3** ロータリーセレクターを押して、選んだフォルダーを再生する  
選んだフォルダーが再生されます。



- 4** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

## 選曲方法を切り換える

ロータリーセレクターを0.5秒以上回し続けたときに、早送り/早戻しにするか、10曲飛びに選曲するラフサーチにするかを選ぶことができます。

- 1 FUNCTION ボタンを押して、選曲方法切り換えモードを選ぶ



- 2 ロータリーセレクターを回して、選曲方法を選ぶ  
右回し：ROUGH (ラフサーチ) を選ぶとき  
左回し：FF/REV (早送り/早戻し) を選ぶとき



- 3 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

## フォルダー内の曲を10曲飛びに選曲する

ラフサーチ

10曲以上収録されているフォルダーの場合、10曲飛びに選曲することができます。多くの曲を収録しているフォルダーのときに、聞きたい曲を大まかにさがすことができます。

- 1 選曲方法切り換えモードにして、ラフサーチを選んでおく
- 2 ロータリーセレクターを0.5秒以上回し続けて、聞きたい曲を選ぶ  
右回し：10曲先のトラックを選ぶとき  
左回し：10曲前のトラックを選ぶとき



曲番号

- ・ 10曲以下のフォルダーでは、ラフサーチを行うと、最初の曲と最後の曲を選曲します。ラフサーチ後に残りの曲数が10曲以下になった場合も同様になります。

## TAG 表示を ON/OFF する

曲名やアーティスト名などの文字情報を収録したディスクを再生している場合、ID3 tag や WMA tag の表示を ON/OFF することができます。

ID3 tag の表示を OFF にすると、ON にしている場合に比べ、曲を切り換えたときに再生が始まるまでの時間が短くなります。

- 1 FUNCTION ボタンを押して、TAG 表示モードを選ぶ



- 2 ロータリーセレクターを押して、TAG 表示を ON にする  
もう一度押すと OFF になります。



- 3 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

- ・ TAG 表示を ON にすると、文字情報を読み込むために、聞いている曲の始めに戻ります。
- ・ 漢字で曲名やアーティスト名が入力されている場合、正しく表示できません。



# WMA/MP3 のタイトルを表示させる

タイトル表示/タイトルスクロール

WMA/MP3 ファイルに記録された、曲名やフォルダー名、アルバム名などの文字情報などを表示させることができます。

## 表示切り換え

- 1 DISPLAY ボタンを押して、表示を切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



再生経過時間表示    フォルダー名 (FOLDER)    ファイル名 (FILE)  
曲名 (TRACK)    歌手名 (ARTIST)    アルバム名 (ALBUM)  
再生経過時間表示に戻る

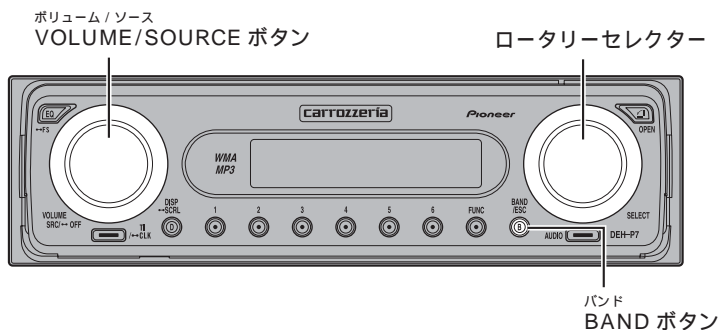
## 隠れている文字を表示する

- 1 DISPLAY ボタンを 2 秒以上押して、隠れているタイトルをスクロール表示する



- TAG 表示 (32 ページ) が OFF になっているときは、曲名 (TRACK)、歌手名 (ARTIST)、およびアルバム名 (ALBUM) には切り換わりません。
- 曲名 (TRACK) などが収録されていない CD-ROM で表示を切り換えると “NO NAME” が表示されます。
- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 漢字、全角かな、および全角英数字で入力されたタイトルは、本機では正しく表示できません。正しく表示させるためには、半角英数字やカナでタイトルを入力してください。

## ラジオを聞く



## ラジオの基本操作

バンド切り換え/選局

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

- 1 SOURCE ボタンを押して、ソースをラジオにする



ステレオ放送を受信すると表示されます。

- 2 BAND ボタンを押して、バンドを選ぶ

ボタンを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。

FM1 FM2 AM1 AM2

FM1 に戻る

バンドごとに放送局を6局ずつ記憶できます。  
(36、37ページ)

バンド1とバンド2を切り換えて使うことでより多くの放送局を記憶できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を記憶させておきます。旅行先など、どんな放送局があるのかわからない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと、バンド1に記憶させた放送局はそのままお使いになれます。



バンド

### 3 ロータリーセレクターを回して、放送局を選ぶ

右回し：高い周波数の放送局を選局するとき  
左回し：低い周波数の放送局を選局するとき



受信周波数

#### 選局方法の使い分け

手動選局 (1 ステップずつ)	0.5 秒未満
自動選局	0.5 秒以上

0.5 秒以上回し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ロータリーセレクターを離れたところから自動選局を開始します。

電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。

### 4 VOLUME を回して、音量を調節する

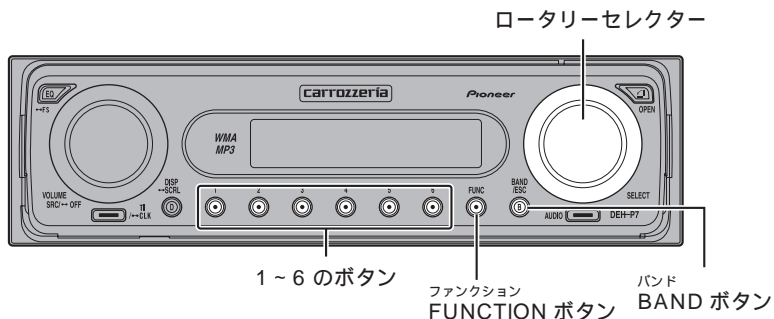
右回し：大きくするとき  
左回し：小さくするとき



0～62の範囲で調節できます。  
約4秒間、音量が表示されます。

### 5 他のソースに切り換えるか、電源をOFFにして、ラジオの受信をやめる (12 ページ)

- ・ 本機は、あらかじめ放送局名を記憶しています。ディスプレイに表示されている放送局名と受信している放送局名が異なるときは、受信している放送局名に変更することができます。(38 ページ)



## 複数の放送局を自動的に記憶させる

BSM

受信状態の良い放送局を探して、自動的に1~6のボタンに記憶させることができます。

- 1 BAND ボタンを押して、記憶させるバンドを選ぶ (34 ページ)

- 2 FUNCTION ボタンを押して、BSM モードにする



- 3 ロータリーセレクターを押して、BSM を始める

記憶が終わると点滅が止まり、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

もう一度押すと途中解除します。



- 4 BAND ボタンを押して、BSM モードを解除する



受信中の記憶番号

- ・ 受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。
- ・ BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)の略です。
- ・ 記憶させた放送局を呼び出すには (38 ページ)
- ・ BSMモードは、約30秒間何も操作しないと、自動的に解除されます。

# 放送局を1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1～6のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手動で記憶させることができます。

**1** BAND ボタンを押して、記憶させるバンドを選ぶ (34 ページ)

**2** ローターセレクターを回して、記憶させたい放送局を選ぶ (35 ページ)

**3** 1～6のボタンの1つを2秒以上押して、記憶させる

押したボタンの番号 (記憶番号) が点滅します。

記憶が終わると点滅が止まり、押したボタンに受信中の放送局が記憶されます。



・ 記憶させた放送局を呼び出すには (38 ページ)

ラジオを聞く

# 記憶させた放送局を呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。

## 記憶させた放送局を直接呼び出すとき

**1** BAND ボタンを押して、記憶させたバンドを選ぶ (34 ページ)

**2** 1～6のボタンの1つを押して、記憶させた放送局を直接呼び出す



受信中の記憶番号

次ページへつづく

## 記憶させた放送局を順番に呼び出すとき

1 BAND ボタンを押して、記憶させたバンドを選ぶ (34 ページ)

2 ローターセレクターを押して、記憶させた放送局を順に呼び出す

押すごとに、記憶された放送局が順に呼び出されます。



受信中の記憶番号

## 放送局名を表示させる

放送局名表示

受信周波数以外に、放送局名選択で選んだ放送局名などを表示させることができます。

1 DISPLAY ボタンを押して、表示を切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



記憶された放送局名が表示されます。

周波数表示    放送局名表示    周波数表示に戻る

- ・ 放送局名が記憶されていない周波数は、“NO DATA” が表示されます。

# 放送局名を選ぶ

放送局名選択

受信している放送局に合わせて、表示する放送局名を選ぶことができます。

## 放送局名について

同じ周波数でも、地域によって受信する放送局は異なります。表示されている放送局名が受信している放送局名と異なる場合、放送局名を変更することができます。

・本機に登録されていない放送局名は選べません。

- 1 実際の放送局名と表示が異なる場合、FUNCTION ボタンを2秒以上押して、放送局名選択モードにする



現在受信している周波数以外の放送局名を変更することはできません。別の周波数の放送局名を変更したい場合、その周波数を受信して(35ページ)から放送局名選択モードにしてください。

- 2 ロータリーセレクターを回して、放送局名を選ぶ

右回し：次の放送局名を選ぶとき  
左回し：前の放送局名を選ぶとき



- 3 ロータリーセレクターを押して、放送局名を変更する

選んだ放送局名に変更されます。



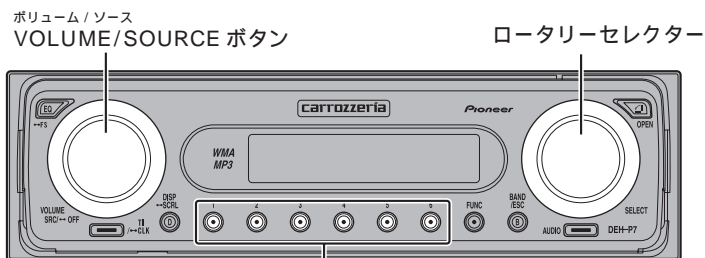
- 4 BAND ボタンを押して、放送局名選択モードを解除する



- ・選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていないと、“NO DATA”と表示されます。
- ・放送局名を表示させたくないときは、“\_\_\_\_\_” (全て空白) を選んでください。
- ・パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCD(「CDX-FM675」など)をお使いの場合、モジュレーター周波数に合わせると、放送局名を“FM M-CD”に変更して表示することができます。
- ・パイオニア製のTVをFMモジュレーターでお使いの場合、モジュレーター周波数に合わせると、放送局名を“FM TVsound”に変更して表示することができます。

ラジオを聞く

## マルチCDでCDを聞く



1～6のボタン

## マルチCDの基本操作

ディスク選択/選曲/早送り・早戻し

ここだけの操作で、マルチCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

### 1 SOURCE ボタンを押して、ソースをマルチCDにする

「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー（「CDX-P670」など）に「CD TEXT」をセットしているときは、他のソースからマルチCDに切り換えたときに、ディスクタイトルおよび曲名を自動的に1回スクロール表示します。



### 2 ロータリーセレクターを押して、聞きたいCDを選ぶ

ロータリーセレクターを押すごとに、CD番号の順にCDを選ぶことができます。

1～6のボタンを押して、聞きたいCDを選ぶこともできます。7～12枚目のCDを選ぶ場合、1～6のボタンを2秒以上押します。



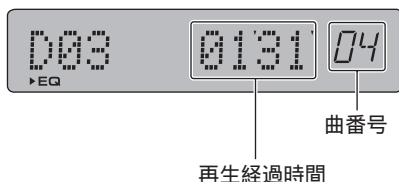
CD 番号



### 3 ロータリーセレクターを回して、聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻しをする)

右回し：次の曲を選ぶとき (または早送り)

左回し：前の曲を選ぶとき (または早戻し)



#### 選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択 0.5秒未満

曲の早送り/早戻し 0.5秒以上回し続けている間

「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー (「CDX-P670」など) で「CD TEXT」を再生しているときは、曲を選んだときに、曲名を自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、自動的にスクロール表示しません。

### 4 VOLUMEを回して、音量を調節する

右回し：大きくするとき

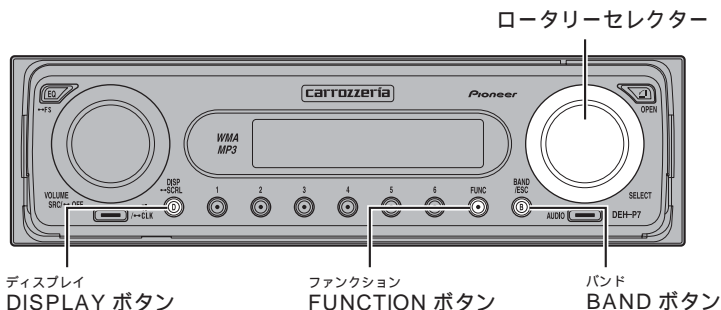
左回し：小さくするとき



0~62の範囲で調節できます。  
約4秒間、音量が表示されます。

### 5 他のソースに切り換えるか、電源をOFFにして、マルチCDの再生をやめる (12ページ)

- マルチCDが準備動作 (CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど) をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると「READY」が表示されます。
- マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、「NOMAGAZINE」が表示されます。



## モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

### ファンクションモードの切り換え

- 1 FUNCTION ボタンを押して、ファンクションモードを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- リピートモード (43 ページ)    タイトルリストモード (49 ページ)
- ランダムモード (44 ページ)    スキャンモード (44 ページ)
- ポーズモード (50 ページ)    COMP 切り換えモード (51 ページ)
- リピートモードに戻る



- ・ ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

# 同じ曲やCDを繰り返し聞き

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

## 再生範囲について

再生範囲 (繰り返し聞く範囲) は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。
マルチCDリピート	マルチCDに入っている全てのCDを通して再生します。(通常はこのモードにしておきます。)

- 1** FUNCTION ボタンを押して、リピートモードを選ぶ



- 2** ロータリーセレクターを回して、再生範囲を切り換える

ロータリーセレクターを回すごとに次のように切り換わります。



MCD (マルチCDリピート)    TRK (トラックリピート)    DSC (ディスクリピート)  
MCDに戻る

- 3** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

表示	選択範囲
D-RPT	ディスクリピート
RPT	トラックリピート



リピート再生中に表示されます。

マルチCDでCDを聞く

## いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

- 1 リピートモードにして、再生範囲を選ぶ  
(43ページ)

選んだ再生範囲内で、ランダム再生が行われます。

- 2 FUNCTION ボタンを押して、ランダムモードを選ぶ



- 3 ロータリーセレクターを押して、ランダム再生をONにする  
次の曲から、ランダムに再生されます。  
もう一度押すとOFFになります。



- 4 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

表示	選択範囲
D-RDM	ディスクリピート
RDM	マルチCDリピート



ランダム再生中に表示されます。

- ・トラックリピートのときに、ランダム再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わり、ランダム再生します。

## 聞きたい曲やCDをさがす

スキャン再生

今聞いているCDの、曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのCDの、1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。

- 1 リピートモードにして、再生範囲を選ぶ  
(43ページ)

聞きたい曲をさがすとき

(トラックスキャン再生)

ロータリーセレクターを回して、  
ディスクリピートにする

再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生  
することができます。

聞きたいCDをさがすとき

(ディスクスキャン再生)

ロータリーセレクターを回して、  
マルチCDリピートにする

マルチCDのマガジン内すべてのCDの1曲  
目だけを、約10秒ずつ再生することが  
できます。

## 2 FUNCTION ボタンを押して、スキャン モードを選ぶ



## 3 ロータリーセレクターを押して、 スキャン再生をONにする

曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的  
にファンクションモードが解除されます。

表示	選択範囲
DSCAN	ディスクリピート
SCAN	マルチCDリピート



スキャン再生中に表示されます。

## 4 聞きたい曲 (CD) が再生されたら、スキャン モードにしてから、ロータリーセレクタ ーを押して、スキャン再生をOFFにする

ファンクションモードが解除されていたら、手  
順2の操作を行ってもう一度スキャンモードにし  
てから、スキャン再生をOFFにしてください。



## 5 BAND ボタンを押して、ファンクション モードを解除する

- ・スキャン再生を始めた曲 (またはCD) まで戻るとスキャン再生は解除されます。
- ・トラックリピートのときに、スキャン再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わり、スキャン再生します。

# CDのタイトルを記憶させる

タイトル入力

CDにタイトルを入力することができます。また、入力したタイトルはディスプレイに表示させることができます。(48ページ)

## タイトル入力について

タイトル入力は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

CDにタイトルをつけるとタイトルリスト(49ページ)で聞きたいCDをさがすこともできます。「CD TEXT」に対応しているマルチCD(「CDX-P670」など)では、「CD TEXT」にあらかじめ収録されているCDタイトルで同様にタイトルリスト(49ページ)をすることができます。

タイトルは10文字まで入力できます。

記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。

タイトルは、CD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

- 1 ロータリーセレクターを押して、  
タイトルを入力したいCDを再生する  
(40ページ)

- 2 FUNCTIONボタンを2秒以上押して、  
タイトル入力モードにする

「CD TEXT」に対応しているマルチCD(「CDX-P670」など)で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードには切り換わりません。(「CD TEXT」に収録されているCDタイトルは変更できません。)



- 3 タイトルを入力する

入力する位置を選ぶ

ロータリーセレクターを押して、入力したい位置にカーソルを移動させる

押すごとに、カーソルが右に移動します。

入力する位置でカーソルが点滅します。10文字まで入力することができます。



## 入力する文字を選ぶ

ロータリーセクターを回して、入力したい文字を選ぶ

右回し：次の文字を選ぶとき

左回し：前の文字を選ぶとき

押すボタン	選べる文字
1ボタン (1ボタンを押すごとに切り換わります。)	アルファベットの小文字 (a~z)、空白( ) アルファベットの大文字 (A~Z)、数字(0~9)、 記号(!" # など) 空白( )
2ボタン	数字(0~9)、 記号(!" # など)、 空白( )
3ボタン (3ボタンを押すごとに切り換わります。)	カタカナ(ア~ン)、 音引き(-)、 空白( ) 拗促音、濁点、半濁点 (アイウエオヤユヨヅ゜)、 空白( )



選んだ文字が点滅します。

## 4 10文字目まで入力する

余ったところは空白のまま、ロータリーセクターを押して、10文字目を点滅させます。



## 5 ロータリーセクターを押して、

入力したタイトルを記憶させる

入力位置の点滅が消え、入力したタイトルが記憶されます。



## 6 BAND ボタンを押して、タイトル入力

モードを解除する

- ・タイトル入力中(文字が点滅しているとき)にBANDボタンを押すと、タイトル入力モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)

# CDのタイトルを表示させる

ディスクタイトル表示

タイトル入力 (46 ページ) で入力したCDのタイトルを表示させることができます。

- 1 DISPLAY ボタンを押して、表示を切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



再生経過時間表示    ディスクタイトル (DISC TITLE)    再生経過時間表示に戻る

- ・ タイトルが入力されていないCDで表示を切り換えると、“NO TITLE”が表示されます。

# 「CD TEXT」のタイトルや歌手名を表示させる

タイトル表示/タイトルスクロール

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) で「CD TEXT」を再生しているとき、ディスクタイトル (ディスク名)、ディスクアーティスト (歌手名) などを表示させることができます。一度に10文字まで表示することができます。また、隠れている文字も順に表示させることができます。

- ・ 「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) の機能です。

## 「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)





## 表示切り換え

- 1 DISPLAY ボタンを押して、表示を切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生経過時間表示   ディスクタイトル (DISC TITLE)   ディスクアーティストネーム (D.ARTIST)   トラックタイトル (TRK TITLE)   トラックアーティストネーム (T.ARTIST)   再生経過時間表示に戻る



## 隠れている文字を表示する

- 1 DISPLAY ボタンを2秒以上押して、隠れているタイトルを表示する

隠れている文字が順に表示されます。



- ・トラックアーティストネーム (歌手名) などが収録されていないCDで表示を切り換えると、“NO TA-NAME” などが表示されます。

## タイトルを見て聞きたいCDをさがす

タイトルリスト

CDのタイトルから、聞きたいCDを選ぶことができます。

- 1 FUNCTION ボタンを押して、タイトルリストモードを選ぶ



- 2 ローターセレクターを回して、聞きたいCDを選ぶ

右回し：次のCDのタイトルを表示させるとき  
左回し：前のCDのタイトルを表示させるとき  
記憶されているタイトルが表示されます。また、そのCDのCD番号が点滅します。



次ページへつづく

- 3** ロータリーセレクターを押して、選んだCDを再生する  
選んだCDが再生されます。



- 4** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

## CD 再生を一時停止する

ポーズ

CD 再生を一時停止することができます。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、ポーズモードを選ぶ



- 2** ロータリーセレクターを押して、ポーズをONにする  
CD再生が一時停止します。  
もう一度押すとOFFになります。



- 3** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



一時停止中に表示されます。

# CDの音質を調節する

COMP/DBE

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

- ・ COMP/DBE に対応しているマルチCDの機能です。

## COMPについて

COMPとは、Compression (コンプレッション) の略です。大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

## DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミック バス エンファシス) の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

### 1 FUNCTION ボタンを押して、COMP 切り換えモードを選ぶ

現在のCOMP/DBEの状態が表示されます。

COMP/DBE機能のないマルチCDを組み合わせたときは、“NO COMP”が表示され、操作できません。



### 2 ロータリーセクターを押して、機能を選ぶ

押すごとに次のように切り換わります。

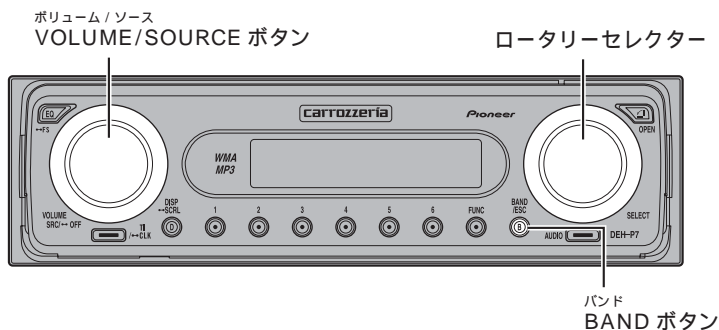


COMP OFF   COMP 1 (コンプレッション1)   COMP 2 (コンプレッション2)  
COMP OFF   DBE 1   DBE 2   最初のCOMP OFFに戻る

### 3 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

- ・ COMP、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。

## TVの操作



## テレビの基本操作

バンド切り換え/選局

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

- 1 SOURCE ボタンを押して、ソースをテレビにする



2 カ国語放送 (音声多重放送) を受信すると表示されます。

- 2 BAND ボタンを押して、バンドを選ぶ

ボタンを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。

TV1 TV2 TV1 に戻る



### 3 ローターセレクターを回して、チャンネルを選ぶ

右回し：次のチャンネルを選ぶとき  
左回し：前のチャンネルを選ぶとき



#### 選局方法の使い分け

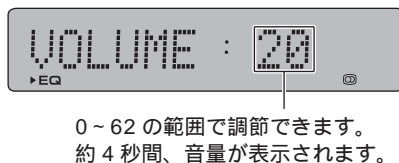
手動選局 (1 ステップずつ)	0.5 秒未満
自動選局	0.5 秒以上

0.5 秒以上押し続けている間、途中のチャンネルをとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

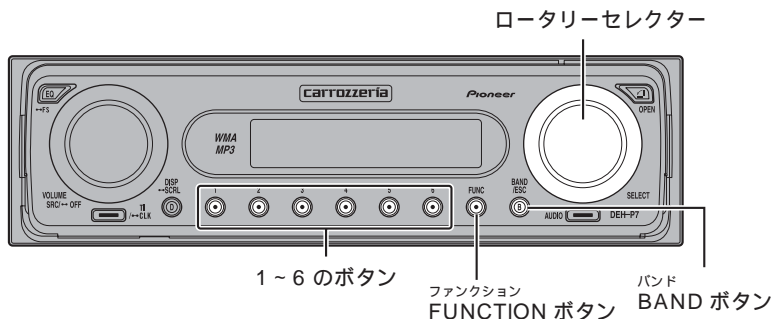
電波の強いチャンネルを選局するには、自動選局を、電波の弱いチャンネルを選局するには、手動選局をおすすめします。

### 4 VOLUME を回して、音量を調節する

右回し：大きくするとき  
左回し：小さくするとき



### 5 他のソースに切り換えるか、電源をOFFにして、テレビの受信をやめる (12 ページ)



## モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

### ファンクションモードの切り換え

- 1 FUNCTION ボタンを押して、ファンクションモードを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

BSSM モード (54 ページ)    音声切り換えモード (55 ページ)    BSSM モードに戻る



- ・ ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

## 複数のチャンネルを自動的に記憶させる

BSSM

受信状態のよいチャンネルを、自動的にチャンネルの小さい順に記憶させる機能です。バンドごとに 12 局まで記憶させることができます。

- 1 BAND ボタンを押して、記憶させるバンドを選ぶ (52 ページ)

- 2 FUNCTION ボタンを押して、BSSM モードにする



**3** ロータリーセクターを押して、  
BSSM を始める

記憶が終わると点滅が止まり、1のボタンに記憶したチャンネルを受信します。  
もう一度押すと途中解除します。



**4** BAND ボタンを押して、BSSM モードを  
解除する



受信中の記憶番号

- ・ 受信状態の良いチャンネルが、12局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。
- ・ BSSMとは、Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー)の略です。
- ・ 記憶させたチャンネルを呼び出すには(57ページ)
- ・ BSSMモードは、約30秒間何も操作しないと、自動的に解除されます。

## 音声を切り換える

2カ国語放送(音声多重放送)を受信しているとき(“◎”が表示されます)は、音声を切り換えることができます。

**1** FUNCTION ボタンを押して、音声切り換えモードにする



**2** ロータリーセクターを回して、  
音声を切り換える

ロータリーセクターを回すごとに次のように切り換わります。



MPX MAIN (主音声)    MPX SUB (副音声)    MPX M + S (主音声 + 副音声)  
MPX MAINに戻る

**3** BAND ボタンを押して、ファンクション  
モードを解除する

# チャンネルを1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1～6のボタンに、お好みのチャンネルを、1局ずつ手動で記憶させることができます。

**1** BAND ボタンを押して、記憶させるバンドを選ぶ (52 ページ)

**2** ローターセレクターを回して、記憶させたいチャンネルを選ぶ (53 ページ)

**3** 1～6のボタンの1つを2秒以上押して、記憶させる

押したボタンの番号 (記憶番号) が点滅します。

記憶が終わると点滅が止まり、押したボタンに受信中のチャンネルが記憶されます。



・ 記憶させたチャンネルを呼び出すには (57 ページ)



# 記憶させたチャンネルを呼び出す

プリセットチューニング

記憶させたチャンネルは、簡単に呼び出すことができます。

## 記憶させたチャンネルを直接呼び出すとき

- 1 BAND ボタンを押して、記憶させたバンドを選ぶ (52 ページ)

- 2 1 ~ 6 のボタンの 1 つを押して、記憶させたチャンネルを直接呼び出す



受信中の記憶番号

## 記憶させたチャンネルを順番に呼び出すとき

- 1 BAND ボタンを押して、記憶させたバンドを選ぶ (52 ページ)

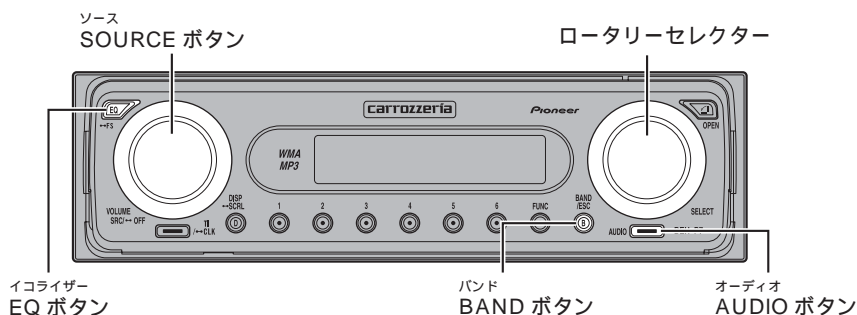
- 2 ロータリーセレクターを押して、記憶させたチャンネルを順に呼び出す

押すごとに、記憶されたチャンネルが順に呼び出されます。



受信中の記憶番号

## 音を調節する



## イコライザーカーブを選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの中から好みのイコライザーカーブを選ぶことができます。

## CUSTOM について

“CUSTOM”には、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブがソースごとに記憶されます。(内蔵CDとマルチCD、およびExternal1とExternal2は、同じ設定になります。)イコライザーカーブを調節すると、“CUSTOM”に記憶されます。

## 1 EQ ボタンを押して、イコライザーカーブを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

FLAT SEPIA PASSION SAILING PARTY CUSTOM  
FLATに戻る



FLAT以外を選択しているときに点灯します。

## 前にステージがあるような感じにする

FS

後ろからではなく前から音が聞こえてくるようにすることができます。

## FS について

FSとは、Front Screen (フロントスクリーン) の略です。

FSは、リア出力の高音域を押し下げて、ボーカルや楽器などの音像を明確にする機能です。

- 1 EQ ボタンを 2 秒以上押して、FS モードに切り換える



- 2 EQ ボタンを 2 秒以上押して、FS モードを切り換える

2 秒以上押すごとに、ON/OFF が切り換わります。



FS が ON のときに点灯します。

- ・ 2 スピーカーシステムをお使いの方は、FS を OFF にしてください。

## モードの切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。

### オーディオ調節モードの切り換え

- 1 AUDIO ボタンを押して、オーディオ調節モードを切り換える

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。



フェーダー/バランス調節モード (60 ページ)    イコライザー調節モード (61 ページ) <sup>1</sup>  
低音/高音レベル調節モード (62 ページ)    ラウドネスモード (63 ページ)  
サブウーファーモード (64 ページ) <sup>2</sup>/ノンフェーディングモード (66 ページ) <sup>3</sup>  
サブウーファー調節モード (64 ページ) <sup>2</sup>/ノンフェーディング調節モード (66 ページ) <sup>3</sup>  
ハイパスフィルターモード (67 ページ)    SLA モード (68 ページ) <sup>4</sup>  
ASL モード (69 ページ)    音量バランス調節モードに戻る

- ・ オーディオ調節モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

<sup>1</sup> イコライザー調節モードは、イコライザーカーブを“CUSTOM”にしているときだけ切り換わります。

<sup>2</sup> サブウーファーモードは、サブウーファーコントロールの設定を“PREOUT :FUL”以外にしているときに切り換わります。また、サブウーファーモードを ON にしているときだけ、サブウーファー調節モードに切り換わります。

<sup>3</sup> ノンフェーディングモードは、サブウーファーコントロールの設定を“PREOUT :FUL”にしているときだけ切り換わります。また、ノンフェーディングモードを ON にしているときだけ、ノンフェーディング調節モードに切り換わります。

<sup>4</sup> ラジオの FM を聞いているときは、SLA モードには切り換わりません。

# 前後左右の音量バランスを調節する

フェーダー/バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

- 1** AUDIO ボタンを押して、フェーダー調節モードを選ぶ



- 2** ロータリーセレクターを回して、前後の音量バランスを調節する  
 右回し：前を強めるとき  
 左回し：後ろを強めるとき



前後のバランスは F15 ~ R15 の範囲で調節できます。

- 3** AUDIO ボタンを押して、バランス調節モードを選ぶ



- 4** ロータリーセレクターを回して、左右の音量バランスを調節する  
 右回し：右を強めるとき  
 左回し：左を強めるとき



左右のバランスは L 9 ~ R 9 の範囲で調節できます。

- 5** BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ リア出力の設定 (76 ページ) を “ REAR SP:S/W ” にしたときは、前後の音量バランスを調節することはできません。

# お好みに合わせてイコライザーカーブを調節する

イコライザーカーブを調節することで、好みの音質をつくることができます。

**1** EQ ボタンを押して、CUSTOM を選ぶ  
(58 ページ)

**2** AUDIO ボタンを押して、イコライザー  
調節モードを選ぶ



**3** 調節したいバンドを選んでレベルを調節する

バンドを選ぶ

ロータリーセレクターを押して、調節した  
いバンドを選ぶ



LOW (低音)、MID (中音)、HIGH (高音)  
の中から選ぶことができます。

レベルを調節する

ロータリーセレクターを回して、レベルを  
調節する

右回し：強めるとき

左回し：弱めるとき



- 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

**4** BAND ボタンを押して、オーディオ調節  
モードを解除する

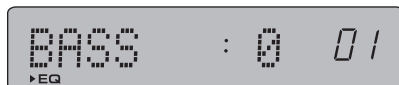
- ・ イコライザーカーブを調節すると、“CUSTOM” に記憶されます。
- ・ 交通情報 (72 ページ) を受信しているときは、イコライザー調節モードには切り換わりません。

# 低音と高音を調節する

バス/トレブル

低音・高音のレベルを調節することができます。

- 1** AUDIO ボタンを押して、低音調節モードを選ぶ



- 2** ロータリーセレクターを回して、レベルを調節する

右回し：レベルを大きくするとき

左回し：レベルを小さくするとき



レベルは - 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

- 3** AUDIO ボタンを押して、高音調節モードを選ぶ



- 4** ロータリーセレクターを回して、レベルを調節する

右回し：レベルを大きくするとき

左回し：レベルを小さくするとき



レベルは - 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

- 5** BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

・ FS 機能 (58 ページ) を ON にしているときは、低音・高音レベル調節モードには切り換わりません。

# 小音量時の音にメリハリをつける

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

- 1** AUDIO ボタンを押して、ラウドネスモードを選ぶ



- 2** ロータリーセレクターを押して、ラウドネスをONにする

もう一度押すとOFFになります。



- 3** ロータリーセレクターを回して、ラウドネスの効果を選ぶ

右回し：効果を大きくするとき

左回し：効果を小さくするとき



L (弱)、M (中)、H (強) の中から選ぶことができます。

- 4** BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

音を調節する

# サブウーファーを使う

サブウーファー

本機では、リアスピーカー端子または、RCA 出力端子に接続したサブウーファーの調節を行うことができます。(この機能は初期設定でONになっています。)

## 位相切り換えについて

サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件により、これらの音の位相どうしが反転(干渉)すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り換えです。車内条件によって、位相の正相(フロント/リアスピーカーと同時に出力される)が良いか、逆相(フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される)が良いかを選んで設定してください。

## カットオフ周波数について

50Hz、80Hz、125Hzから選んだ周波数以下の音域がサブウーファーから出力されます。

- 1 AUDIO ボタンを押して、サブウーファーモードを選ぶ



- 2 ロータリーセレクターを押して、サブウーファーをONにする  
もう一度押すとOFFになります。



- 3 ロータリーセレクターを回して、位相を切り換える  
右回し：NOR(正相)を選ぶとき  
左回し：REV(逆相)を選ぶとき





**4** AUDIO ボタンを押して、サブウーファー  
調節モードを選ぶ



**5** カットオフ周波数とレベルを調節する

周波数を選ぶ

ロータリーセクターを押して、  
周波数を選ぶ

押すごとに、次のように切り換わります。

50Hz 80Hz 125Hz  
50Hz に戻る

レベルを調節する

ロータリーセクターを回して、  
レベルを調節する

右回し：レベルを大きくするとき

左回し：レベルを小さくするとき



周波数は、50Hz、80Hz、125Hz の  
中から選ぶことができます。



レベルは - 6 ~ + 6 の  
範囲で調節できます。

**6** BAND ボタンを押して、オーディオ調節  
モードを解除する

- ・ サブウーファーコントロールを“PREOUT:FUL”にしたときは、サブウーファーモードには切り換わりません。(77ページ)
- ・ サブウーファーをOFFにしたときは、サブウーファー調節モードには切り換わりません。

# 外部アンプなどでサブウーファーを調節する

ノンフェーディング

本機のローパスフィルターを通さずに、原音のままRCA出力から音声信号を出力することができ、さらにその出力レベルを調節することができます。(この機能は初期設定でONになっています。)

- 1** AUDIO ボタンを押して、ノンフェーディングモードを選ぶ



- 2** ロータリーセレクターを押して、ノンフェーディングをONにする  
もう一度押すとOFFになります。



- 3** AUDIO ボタンを押して、ノンフェーディング調節モードを選ぶ



- 4** ロータリーセレクターを回して、レベルを調節する

右回し：レベルを大きくするとき  
左回し：レベルを小さくするとき



レベルは - 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

- 5** BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ サブウーファーコントロールを“PREOUT :FUL”にしたときだけ、ノンフェーディングモードに切り換わります。(77ページ)
- ・ ノンフェーディングをOFFにしたときは、ノンフェーディング調節モードには切り換わりません。

# 低い音をスピーカーから出力させないようにする

## ハイパスフィルター (HPF)

ハイパスフィルターをONにすると、選んだ周波数より低い周波数の音が各スピーカーから出力されなくなります。

### ハイパスフィルター (HPF) について

ハイパスフィルターは、設定した周波数から下の音域 (低域) をカットして、高域を通すフィルターです。ハイパスフィルターをONにすることにより、サブウーファーとの音のつながりを調節することができます。

### カットオフ周波数について

50、80、125 (Hz) から選んだ周波数より高い周波数の音域が各スピーカーから出力されます。

- 1 AUDIO ボタンを押して、ハイパスフィルターモードを選ぶ



- 2 ロータリーセクターを押して、ハイパスフィルターをONにする  
もう一度押すとOFFになります。



- 3 ロータリーセクターを回して、カットオフ周波数を選ぶ  
右回し : 高い周波数を選ぶとき  
左回し : 低い周波数を選ぶとき  
選んだ周波数より高い周波数の音だけが、各スピーカーから出力されます。



周波数は、50、80、125 (Hz) の中から選ぶことができます。

- 4 BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

## 各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

**1** SOURCE ボタンを押して、FMを受信し、FMの音量を確かめる (34 ページ)

**2** SOURCE ボタンを押して、調節したいソースに切り換える (12 ページ)

**3** AUDIO ボタンを押して、SLA モードを選ぶ



**4** ロータリーセクターを回して、レベルを調節する

右回し：レベルを大きくするとき

左回し：レベルを小さくするとき



レベルは - 4 ~ + 4 の範囲で調節できます。

**5** BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ SLAとはSource Level Adjuster (ソースレベルアジャスター) の略です。
- ・ FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときは、SLAモードに切り換えることはできません。
- ・ AM、テレビ、CD、External (エクスターナルユニット)、AUX (外部機器) のそれぞれの音量差を調節することができます。なお、内蔵CDとマルチCD、External1とExternal2、およびAMと交通情報 (72 ページ) は同じ設定になります。

# 騒音に合わせて音量を変える

ASL

騒音に合わせて、自動的に音量が変わるようにすることができます。

## ASLについて

ASLとは、Automatic Sound Levelizer (オートマチック サウンド レベライザー) の略です。

ASLは、走行速度や道路状況によって変化する車内の騒音を検出して、騒音が大きくなると自動的に音量を大きくする機能です。

- 1 AUDIO ボタンを押して、ASL モードを選ぶ



- 2 ロータリーセクターを押して、ASL を ON にする  
もう一度押すと OFF になります。



- 3 ロータリーセクターを回して、ASL の感度を選ぶ  
右回し：感度を高くするとき  
左回し：感度を低くするとき



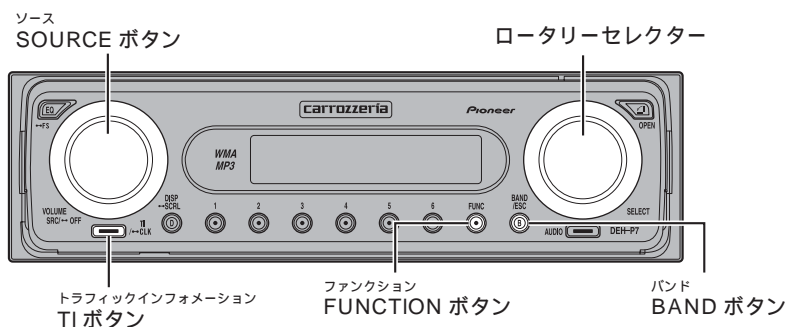
LOW、MID-L、MID、MID-H、HIGH の中から選ぶことができます。

- 4 BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ 音量が十分にあるときは、騒音が大きくても、音量の上げ幅は小さくなります。
- ・ この機能が働いて音量が上がすぎたとき、音が歪むことがあります。そのときは VOLUME で音量を下げてください。

音を調節する

## その他の機能と付録



### 瞬時に音量を小さくする

アッテネーター

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を小さくすることができます。

- 1 リモコンのATTボタンを押して、瞬時に音量を小さくする (7 ページ)

音量が約 1/10 になります。

もう一度押すと、OFF になります。



アッテネーターが ON のときに点滅します。

### 時計を表示させる

時計表示

本機の電源の ON/OFF に関わらず、時計を表示させることができます。

- 1 TI ボタンを 2 秒以上押して、時計を表示する

もう一度 2 秒以上押すと、OFF になります。



時計表示

- ・ 本機の電源が ON の場合は、時計表示のときに他の操作をすると、時計表示は一度解除されますが、約 2.5 秒後に時計表示に戻ります。
- ・ 時計を合わせるには (73 ページ)

# よく使う機能を直接操作する

ダイレクトファンクション

リモコンのDFボタンを押すと、よく使う機能をソースごとに直接操作することができます。

## 内蔵CD、WMA/MP3、マルチCDのとき

- 1 リモコンのDFボタンを押して、ポーズをONにする(7ページ)

再生が一時停止します。(19、29、50ページ)

もう一度押すと、OFFになります。

## ラジオのとき

- 1 リモコンのDFボタンを2秒以上押して、BSMを始める(7ページ)

BSMが始まります。(36ページ)

BSM中にリモコンのDFボタンを押すことで、BSMを途中解除することもできます。

## テレビのとき

- 1 リモコンのDFボタンを2秒以上押して、BSSMを始める(7ページ)

BSSMが始まります。(54ページ)

BSSM中にリモコンのDFボタンを押すことで、BSSMを途中解除することもできます。

## 交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

AM 1,620 kHzまたは1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。

### 1 TI ボタンを押して、交通情報を受信する

AM 1,620 kHzの交通情報を受信します。



### 2 ローターセレクターを回して、周波数を選ぶ

右回し：1,629 kHzを選ぶとき

左回し：1,620 kHzを選ぶとき



受信周波数

### 3 TI ボタンを押して、交通情報の受信をやめる

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

- ・ この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。
- ・ 交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定することができます。
- ・ 交通情報を受信すると、自動的に交通情報用のイコライザーカーブに切り換わります。交通情報の受信をやめるとイコライザーカーブは、元の状態に戻ります。
- ・ 交通情報を受信しているときは、イコライザー調節モードには切り換わりません。

## 初期設定モードの切り換えかた

外部機器やディマラーの設定をするときは、初期設定モードを切り換えて操作します。

### 1 SOURCE ボタンを1秒以上押して、電源をOFFにする

### 2 電源がOFFのときにFUNCTION ボタンを2秒以上押して、初期設定モードに切り換える

初期設定モードに切り換わります。





### 3 FUNCTION ボタンを押して、初期設定モードを切り換える

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

時計調節モード (73 ページ)    AUX (外部機器) モード (74 ページ)  
ディマーモード (75 ページ)    リア出力設定モード (76 ページ)  
TEL ミュート/アッテネートモード (78 ページ)    時計調節モードに戻る

- ・ 初期設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(解除すると、電源が OFF になります。)

## 時計を合わせる

時計合わせ

時計を合わせることができます。

### 1 電源が OFF のときに FUNCTION ボタンを 2 秒以上押して、時計調節モードを選ぶ



12:00 FM

### 2 時計を設定する

時または分を選ぶ

ロータリーセクターを押して、  
時または分を選ぶ

押すごとに、時または分が切り換わります。



12:00 FM

時刻を合わせる

ロータリーセクターを回して、  
時刻を合わせる

右回し：時刻を進めるとき

左回し：時刻を戻すとき

分を調節すると、0 秒からカウントが始まります。



12:00 FM

### 3 BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除する

## 外部機器の音声を聞く


AUX (外部機器) の設定

本機に DAT や VTR などの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

### 外部機器との接続について

別売の RCA/IP-BUS インターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA 出力のある DAT や VTR を、外部機器として本機に接続することができます。詳しくは、RCA/IP-BUS インターコネクターの説明書をご覧ください。

- 1 電源が OFF のときに FUNCTION ボタンを 2 秒以上押してから FUNCTION ボタンを押して、AUX (外部機器) モードを選ぶ



AUX OFF

- 2 ロータリーセレクターを押して、AUX (外部機器) の設定を ON にする  
もう一度押すと OFF になります。



AUX ON

- 3 SOURCE ボタンを押して、ソースを AUX に切り換える (12 ページ)  
ソースを AUX に切り換えると、外部機器の音声が出力されます。



AUX  
▶ EQ

## 外部機器の名称を入力する

接続した外部機器の名称を入力することができます。

- 1 SOURCE ボタンを押して、ソースを AUX に切り換える (12 ページ)



AUX  
▶ EQ

- 2** FUNCTION ボタンを 2 秒以上押し、外部機器の名称入力モードを選ぶ



- 3** 外部機器の名称を入力し、記憶させる

CD タイトル入力の手順 3 ~ 6 を参照し、同様の操作で外部機器の名称を記憶させてください。(46 ページ)

外部機器の名称は、10 文字まで入力することができます。

## 夜間のディスプレイの明るさを切り換える

ディマー

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトを ON にするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなります。

- 1** 電源が OFF のときに FUNCTION ボタンを 2 秒以上押ししてから FUNCTION ボタンを押して、ディマーモードを選ぶ



- 2** ロータリーセレクターを押して、ディマーを ON にする  
もう一度押すと OFF になります。



- 3** BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除する

# リアの出力方法を変える

リアスピーカー出力の設定

リア出力に接続するスピーカーの種類に合わせて切り換えます。フルレンジスピーカーを接続する場合は、“REAR SP:FUL”に切り換えます。また、サブウーファーを接続する場合は、“REAR SP:S/W”に切り換えます。

リア出力の設定を“REAR SP:S/W”に切り換えると、リアスピーカー端子にサブウーファーを直接接続することができます。

- 1 電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してからFUNCTIONボタンを押して、リア出力設定モードを選ぶ

REAR SPFUL

- 2 ロータリーセレクターを押して、リアの出力方法を選ぶ

押すごとに、次のように切り換わります。

REAR SP:FUL (フルレンジのとき)  
REAR SP:S/W (サブウーファーのとき)  
REAR SP:FUL に戻る

リア出力を“REAR SP:S/W”にしたときは、サブウーファーコントロールの設定(77ページ)は“PREOUT :S/W”になります。

REAR SPS/W

- 3 BANDボタンを押して、初期設定モードを解除する

- ・ リア出力の設定は、リアスピーカー端子とRCA出力を同時に切り換えます。どちらか一方のみを切り換えることはできません。

# サブウーファースの調節先を選ぶ

## サブウーファーコントロールの設定

RCAサブウーファー出力にサブウーファーを接続する場合、本機でサブウーファーを調節する“PREOUT:S/W”と、外部アンプでサブウーファーを調節する“PREOUT:FUL”が選べます。

- 1 電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してからFUNCTIONボタンを押して、リア出力設定モードを選ぶ



REAR SP:FUL

- 2 ロータリーセレクターを押して、“REAR SP:FUL”を選ぶ



REAR SP:FUL

- 3 ロータリーセレクターを回して、サブウーファーコントロールを設定する

右回し：PREOUT:FUL (外部アンプで調節するとき)

左回し：PREOUT:S/W (本機で調節するとき)



PREOUT FUL

- 4 BANDボタンを押して、初期設定モードを解除する

ロータリーセレクターを押すと、リアスピーカーの出力設定 (76ページ) が“REAR SP:S/W”に切り換わります。


この場合は、もう一度リアスピーカーの出力設定を行ってください。

- サブウーファーコントロールの設定を“PREOUT:FUL”にしたときは、オーディオ調節モードでノンフェーディングを調節してください。
- サブウーファーコントロールの設定を“PREOUT:S/W”にしたときは、オーディオ調節モードでサブウーファーを調節してください。
- サブウーファーコントロールの設定を切り換えるとオーディオ調節モードで行った設定は、リセットされます。

## ミュート/アッテネート切り換え


ミュート機能のある製品（パイオニア製ナビゲーションシステム「AVIC-DR2000」など）と本機を組み合わせると、その製品からミュート信号を受け取っているときだけ、ミュートまたはアッテネート機能が働きます。ミュート機能が働いているときの音量は“0”で、アッテネート機能が働いているときの音量は、元の音量の約1/10です。ミュートまたはアッテネート機能が解除されると、自動的に元の音量に戻ります。

- 1** 電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してからFUNCTIONボタンを押して、TELミュート/アッテネートモードを選ぶ



TEL MUT

- 2** ロータリーセレクターを回して、信号入力時の設定を選ぶ  
右回し：MUT（ミュート）  
左回し：ATT（アッテネート）



TEL ATT

- 3** BANDボタンを押して、初期設定モードを解除する



# CDの正しい使いかた

## 使用できるCDについて

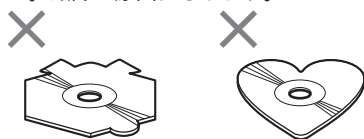
ディスクタイトル面に下記マークの付いているコンパクトディスク(光学式デジタルオーディオディスク)をご使用ください。



本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証及び性能保証は致しかねます。

ひび、キズ、そのあるCDは使用しないでください。

特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したCD-R/CD-RWディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。

パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定および環境によって再生できないことがあります。(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください。)

直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/CD-RWディスクは再生できなくなる場合があります。

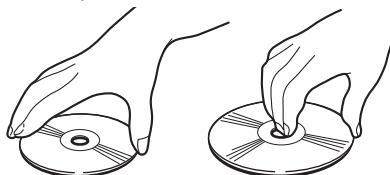
CD-R/CD-RWディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。(音楽データ(CD-DA)再生時)

本機はCD-R/CD-RWディスクのトラックスキップ機能に対応しています。スキップ指定された曲を飛ばして再生します。(音楽データ(CD-DA)再生時)

ファイナライズされていないCD-R/CD-RWディスクには対応しておりません。CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。CD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

## 取り扱い上のご注意

CDは、下図のように、信号記録面(虹色に光っている面)をさわらないように持ってください。



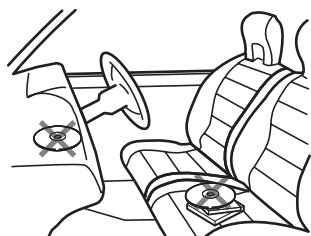
CDにキズを付けしないでください。CDにシールなどを貼り付けしないでください。





## 保管上のご注意

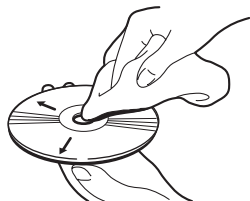
直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

## お手入れについて

CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。

## CD再生の環境について

走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。

寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。

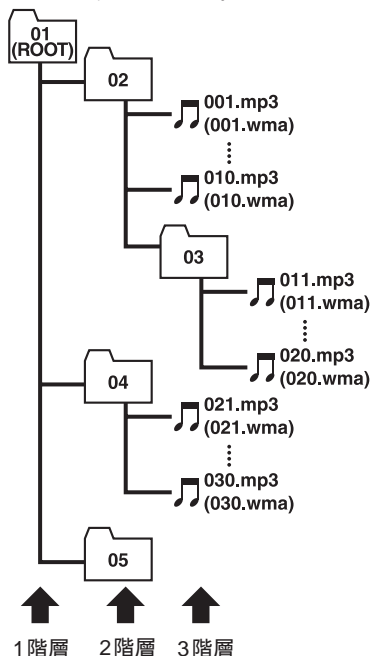
このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。

- ・製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

# WMA/MP3 ファイルについて

## フォルダーとWMA および MP3 ファイルについて

WMA および MP3 ファイルを収録した CD-R/CD-RW/CD-ROM のイメージは下図のようになります。



本機はWMA およびMP3 ファイルが記録された CD-R/CD-RW/CD-ROM の再生に対応しています。ディスクは、ISO9660 のレベル1、およびレベル2、および拡張フォーマット (Joliet, Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。(88 ページ)

本機はマルチセッション (88 ページ) 方式で記録したディスクの再生に対応しています。

パケットライト (88 ページ) には対応していません。

m3u (88 ページ) のプレイリストには対応していません。

MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PRO フォーマットには対応していません。

ファイル名の最大表示文字数は、拡張子 (.mp3、.wma) を含めて32文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は32文字までです。

拡張フォーマット (Joliet, Romeo) (88 ページ) に準拠して記録されたファイルの場合、先頭から32文字までの表示に対応しています。

再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。

- ・ フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- ・ CD-R、CD-RW、CD-EXTRA、MIXED-MODE CD ディスクに WMA および MP3 ファイルと、音楽データ (CD-DA) が混在しているときは、WMA および MP3 ファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えることができます。WMA および MP3 ファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。
- ・ WMA および MP3 ファイルを含まないフォルダーは認識しません。(フォルダー番号の表示をせず、スキップします。)
- ・ 8階層までのWMA およびMP3 ファイルの再生に対応していますが、多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ・ ディスクに含まれるフォルダーの合計が253個まで再生可能です。

## WMA とは？

「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver.7、7.1 または Windows Media Player for Windows XP を使用してエンコードすることができます。(89 ページ)

- ・ WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- ・ WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

## 再生できる WMA ファイルについて

- ・ WMA ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wma) を付けてください。
- ・ 本機は、拡張子 (.wma) が付いているファイルを WMA ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMA ファイル以外には拡張子 (.wma) を付けしないでください。

再生可能な WMA ファイルのサンプリング周波数は 32/44.1/48 kHz です。一般的に WMA ファイルは、ビットレート (88 ページ) が高いほど音質は良くなります。本機は、48 kbps ~ 192 kbps の WMA ファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

## MP3 とは？

MPEG Audio Layer 3 の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。(88 ページ)

## 再生できる MP3 ファイルについて

- ・ MP3 ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.mp3) を付けてください。
- ・ 本機は、拡張子 (.mp3) が付いているファイルを MP3 ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3 ファイル以外には拡張子 (.mp3) を付けしないでください。

ID3 Tag (88 ページ) の Ver1.0 および Ver1.1 の album (Disc Title として表示)、track (TrackTitle として表示)、artist (Track Artist として表示) の表示に対応しています。

32/44.1/48 kHz の MP3 ファイルを再生している場合のみエンファシスに対応しております。(なお、再生可能なサンプリング周波数は 16/22.05/24/32/44.1/48 kHz です。)

一般的に MP3 ファイルは、ビットレート (88 ページ) が高いほど音質は良くなります。本機は、8 kbps ~ 320 kbps の MP3 ファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128 kbps 以上のビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

# 故障かな？と思ったら

## 故障かな？と 思ったら

修理を依頼される前に、  
次の表の内容をチェック  
してください。



## チェックしても 直らないときは

「保証書とアフターサービ  
ス」(87ページ)をお読み  
になり、修理を依頼して  
ください。

## 共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 (「取付説明書」参照)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。 (「取付説明書」参照)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を調節してください。 (13ページ)
	アッテネーターがONになっている。	アッテネーターを解除してください。 (70ページ)
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (60ページ)
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (60ページ)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (60ページ)

## ラジオ

症状	原因	処置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。 放送局の電波が弱い。	周波数を正しく合わせてください。(35ページ) 他の放送局を選局してみてください。(35ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。(35ページ)

## CD、WMA/MP3

症状	原因	処置
CDの再生中、大きな雑音が出る。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
CDの再生が途中で止まる。 CDの再生ができない。	CDが極端に汚れている。 CDにくもりや水滴が付いている。	CDの汚れをふき取ってください。(81ページ) CDのくもりや水滴をふき取ってください。(81ページ)
	CDの表裏を逆にセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。(14、22ページ)

## こんなメッセージが表示されたら

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処置
「ERROR-11」「ERROR-12」「ERROR-17」「ERROR-30」	ディスクが汚れているとき。 ディスクにキズやひびがあるとき。	ディスクの汚れをふき取ってください。(81ページ) ディスクを交換してください。
「ERROR-12」「ERROR-17」	CD-R/CD-RWを録音しないまま使用しているとき。	CD-R/CD-RWは、録音してからお使いください。
「ERROR-10」「ERROR-11」「ERROR-12」「ERROR-17」「ERROR-30」「ERROR-50」「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、ディスク再生を一度やめてから、もう一度ディスク再生にしてください。
「ERROR-22」「ERROR-23」	再生できないフォーマットのCD-ROMを挿入したとき。	ディスクを交換してください。
「ERROR-44」	すべての曲がトラックスキップ指定されているとき。	ディスクを交換してください。
「HEAT」	本機の内部温度が高いとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。
「NO AUDIO」	何も録音されていないCD-ROMを挿入したとき。	WMA/MP3ファイルの記録されているCD-ROMと交換してください。

マルチCD再生中に、上記以外のエラーメッセージが表示されたときは、マルチCDの説明書をご覧ください。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

## 保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

## 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのバイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

## 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのバイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

## 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

## ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はバイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 用語解説

### パケットライト

フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルを必要な時点で、CD-Rなどに書き込む方式の総称です。

### ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps (bit per second) です。この数字が大きいくほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式 (MP3 など) での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音となります。(MP3 と WMA のように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

### マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる記録方式です。CD-ROM や CD-R、CD-RW にデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

### ID3 Tag

曲の関連情報を MP3 ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報は、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容は ID3 Tag 編集機能のあるソフトを利用して自由に編集ができます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

### ISO9660 フォーマット

CD-ROM のファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際基準です。ISO9660 フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル1 :

ファイル名は、8.3 形式 (名前は半角英文大文字と半角数字、“\_” で8文字以下、拡張子は3文字)

レベル2 :

ファイル名は、最大31文字 (区切り文字、“.” と拡張子を含む) で、各フォルダーの階層は8つ以下

拡張フォーマット

Joliet :

ファイル名は、最大で64文字

Romeo :

ファイル名は、最大で128文字

### m3u

プレイリストファイルの拡張子 (.m3u) で、「WINAMP」というソフトで作成したプレイリストに付きます。

### MP3 (エムピースリー)

「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO (国際標準化機構) のワーキンググループ (MPEG) の定めた音声圧縮の規格です。MP3 は、音声データを元のデータの約 1/10 のサイズに圧縮することができます。



## VBR (バイビートル)

「Variable Bit Rate (可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR (固定ビットレート)が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

## WMA (ダブルユーエムエー)

「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver.7、7.1、または Windows Media Player for Windows XP を使用してエンコードすることができます。

Microsoft、Windows Media、Windows のロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

# おもな仕様

## CD プレーヤー部

形式 : コンパクトディスク  
オーディオシステム

使用ディスク : コンパクトディスク

信号  
フォーマット : サンプリング周波数 : 44.1 kHz  
量子化ビット数 : 16 ビット直線

周波数特性 : 5 ~ 20,000 Hz (±1 dB)

S/N : 100 dB (1 kHz)  
(IHF-A ネットワーク)

ダイナミック  
レンジ : 97 dB (1 kHz)

チャンネル数 : 2 (ステレオ)

MP3  
デコーディング  
フォーマット : MPEG-1 & 2 Audio Layer-3

WMA  
デコーディング  
フォーマット : Ver.7 & 8

## FM チューナー部

受信周波数帯域 : 76.1 ~ 89.9 MHz

実用感度 : 8 dBf (0.7  $\mu$ V/75 、  
モノラル、S/N : 30 dB)

S / N 50 dB  
感度 : 10 dBf  
(0.9  $\mu$ V/75 、モノラル)

S / N : 75 dB (IHF-A ネットワーク)

高調波歪率 : 0.3 %  
(65 dBf 入力、1 kHz、ステレオ)  
0.1 %  
(65 dBf 入力、1 kHz、モノラル)

周波数特性 : 30 ~ 15,000 Hz (±3 dB)

ステレオ

セパレーション : 45 dB (65 dBf 入力、1 kHz)

## AM チューナー部

受信周波数帯域 : 522 ~ 1,629 kHz (9 kHz)

実用感度 : 18  $\mu$ V (S/N : 20 dB)

S/N : 65 dB (IHF-A ネットワーク)

## アンプ・オーディオ部

最大出力 : 50 W x 4  
50 W x 2ch/4 + 70 W x 1ch/2  
(for サブウーファー)

定格出力 : 22 W x 4  
(50 ~ 15,000 Hz、5 % THD)

負荷  
インピーダンス : 4  
(4 ~ 8 [2 for 1ch] 使用可能)

プリアウト  
最大出力レベル : 2.2 V

出力  
インピーダンス : 1 k

イコライザー  
(3 バンド  
イコライザー) : (LOW)  
周波数 : 100 Hz  
調整幅 : ± 12 dB  
(MID)  
周波数 : 1K Hz  
調整幅 : ± 12 dB  
(HIGH)  
周波数 : 10K Hz  
調整幅 : ± 12 dB

## ラウドネス

コンター : LOW : 3.5 dB (100 Hz)  
3 dB (10 kHz)

MID : 10 dB (100 Hz)  
6.5 dB (10 kHz)

HIGH : 11 dB (100 Hz)  
11 dB (10 kHz)  
(ボリューム : - 30 dB)

## トーン

コントロール : (バス)  
周波数 : 40 Hz  
ゲイン : ± 12 dB  
(トレブル)  
周波数 : 10K Hz  
ゲイン : ± 12 dB

## ハイパス

フィルター : 周波数 : 50 Hz/80 Hz/125 Hz  
スロープ : - 12 dB/oct.

## サブウーファー

出力：周波数 : 50/80/125 Hz  
スロープ : - 18 dB/oct.  
ゲイン : ± 12 dB  
位相 : NORMAL/REVERSE

---

## 共通部

使用電源 : DC 14.4 V  
(10.8 ~ 15.1 V 使用可能)  
アース方式 : マイナスアース方式  
最大消費電流 : 10.0 A  
外形寸法  
(取付寸法) : 178 (W) × 50 (H) × 162 (D) mm  
(ノーズ寸法) : 170 (W) × 46 (H) × 16 (D) mm  
質量 : 1.5 kg (コードユニット含まず)

---

## 付属品

コードユニット : 1  
取付ネジ類 : 1 式  
リモコン : 1  
単 4 乾電池  
(R03) : 2  
取扱説明書 : 1  
取付説明書 : 1  
安全上のご注意 : 1  
保証書 : 1  
ご相談窓口・  
修理窓口のご案内 : 1

- ・ 上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

## ご購入後の製品の修理・取り扱いのご相談は、お買い求めの販売店へお問い合わせください

修理のご依頼は、取扱説明書の『故障かな?と思ったら』の項目をご確認のうえ、お買い求めの販売店へご相談ください。取り付け・組み合わせなどのお問い合わせにつきましても、お買い求めの販売店へご相談・ご依頼ください。

### 下記窓口へのお問い合わせ時のご注意

市外局番「0070」で始まるフリーフォンおよび「0120」で始まるフリーダイヤルは、PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。また、一般電話は携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。あらかじめご了承ください。

### 安全上のご注意

携帯電話などの走行中の使用などの禁止に関する規定が、改正道路交通法（法第71条第5号の5）にて施行されています。自動車または原動機付自転車（原付）からの、携帯電話などによる発信・応答・通話は、安全な場所に止めてからご利用ください。

## 製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

### カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9:30～17:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

カーオーディオ/カーナビゲーション製品のご相談窓口： **0070-800-8181-11**  
**03-5496-8016**（一般電話）

カタログのご請求窓口： **0070-800-8181-33**  
ファックス：**03-3490-5718**

### バイオニアホームページでのご案内

商品に関する「よくあるお問い合わせ」FAQのご案内 <http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html>  
カタログ請求とメールサービス登録のご案内 <http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html>

## 部品のご購入についてのご相談窓口

付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入に関するご相談については、部品受注センターにご相談ください。

### 部品受注センター（フリーダイヤル）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話： **0120-5-81095**  
**0538-43-1161**（一般電話）

ファックス： **0120-5-81096**

## ご贈答品などの修理についてのご相談窓口

修理のお問い合わせは、取扱説明書の『故障かな?と思ったら』の項目をご確認のうえお問い合わせください。ご転居されたり、ご贈答品などで、お買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、下記の修理受付センターにご相談ください。

### 修理受付センター（沖縄県を除く全国）（フリーダイヤル）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話： **0120-5-81028**  
**03-5496-2023**（一般電話）

ファックス： **0120-5-81029**

### 沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話：**098-879-1910**（一般電話）  
ファックス：**098-879-1352**

## パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

©パイオニア株式会社 2003

<KSNZF/03A00000> <CRA3432-A>